

センター便り

〒601-0715 京都府南丹市美山町下宮ノ上ミ14-1
山村留学センター「四季の里」
TEL : 0771-77-0232 FAX : 0771-77-0279
E-Mail : miyamasanryu@cans.zaq.ne.jp

節分

2月3日、今日は節分です。昨年の節分は2月2日で、初めて節分は2月3日に固定されているものではないと知って驚いたことを思い出します。明日は立春ですが、今年は雪の日が多く春にはほど遠い気がします。本来なら木曜日の今日は里親さんにお世話になっているはずですが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い「まん延防止等重点措置」の適用が発表されたため、急遽中止となりました。そこで寮母さんが用意してくれたセンターの夕食は、イワシの塩焼きに茶碗蒸し、そして特大恵方巻に大豆を添えて・・・のスペシャル節分メニューです。子供たちは寮母さんに今年の恵方が「北北西」と教えてもらって一斉に「がぶり、がぶり」と食べ出しました。大きな恵方巻はなかなか手ごわくてあごが外れそうになるくらい大きな口を開けて悪戦苦闘、みんなが食べきるのに結構な時間がかかりました。その日の夜にも豆をまいたのですが、週末に先週から節分用にと手作りした鬼の面をかぶって本格的に「鬼は外・福は内」と元気に豆まきをしました。



鬼は外、福は内



山留生の人形

2月3日、センターの玄関に飾られている歴代山村留學生の人形の棚に新しく今年度24期生7名の人形が加わりました。この人形は千代野母さんが一体一体を手作りされたもので、その数なんと109体。粘土で作られた子供たちの顔や毛糸で出来た髪型、また着せられている服や持ち物などが、歴代留學生一人ひとりの雰囲気や特徴をしっかりととらえられた素晴らしい作品になっています。久しぶりにセンターを訪れた歴代の山村留学の卒業生たちも、自分の人形と一緒に記念撮影をして帰るほど愛着心を持っています。新しくこの場所に加わった24期生の子供たちも嬉しそうに自分の人形を見ていました。

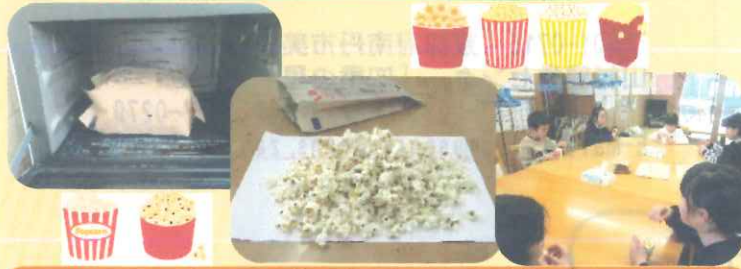


雪かきと雪遊び



2月6日、昨夜から降り出した雪が今朝には10数センチ積もっています。そして今日は日中も雪の予報、今のうちに出来るだけ雪をどけておこうと雪かきを始めました。今年は雪の降る日が多く、子供たちも手慣れたもので、1時間ほどでセンターの玄関付近の除雪を終了。雪かきに使ったシャベルなどを洗おうと水道の栓をひねったのですが、なんとホースの中の水が凍りついて水が出て来なかったのにはびっくりしました。その後も雪かきをしたにもかかわらず断続的に雪が降り続き、お昼ごはんの後はスキーウェアに着替えて雪遊びのスタートです。センター裏の斜面でソリ遊びをしていましたが、しばらくするとあきたと見えて雪を集めてかまくら作りを始めました。15時を過ぎ、雪の降り方も強くなった所でタイムアウト。子供たちは残念そうでしたが、思う存分楽しめたようです。

ポップコーンを食べる



2月11日、今日は建国記念の日で学校は休みです。しかし折角の休日も新型コロナウイルス感染拡大によるまん延防止重点措置が適用されたことで、子供たちもどこにも出かけることが出来ません。せめておやつの時間だけでも楽しく過ごそうと思いポップコーンを作ることにしました。ペったんこの市販のポップコーンをレンジに入れて500wで数分温めるとパンパンとはじける音がして、あっという間に袋がふくらんで出来上がり、美味しかったですよ。

ホットケーキを焼く



2月13日、今日は三連休の最終日です。子供たちは午前中、24期生の記念文集の原稿書きに四苦八苦。何度も書き直しを繰り返してやっと納得のいく原稿が出来上がりました。そのご褒美と言う訳ではありませんが、先日のポップコーンではおやつとしてちょっと物足りなさそうな子供たちのために、本日のおやつはホットケーキをみんなで作ることにしました。ホットケーキの元に牛乳と卵をしっかりと混ぜ合わせてバターを溶かしたホットプレートの上で焼いて行きます。それぞれお玉を使って苦労しながら丸い形に焼き上げ、はちみつやチョコレートシロップ、ブルーベリーのジャムなどを付けて食べました。ふんわりと甘く仕上がったホットケーキはとてもおいしくて、みんなお腹いっぱい食べました。

お母さんの一人言

早や2月も終わりに近づきました。相変わらず「コロナ禍」にビクビクしながらの日々です。子供達も学級閉鎖になったり不安な事ですが、もう誰が発病してもおかしくない状況です。とにかく「マスク・うがい」を徹底して、外出は出来るだけ控えるように心がけたいと思います。

バレンタインデー

2月13日、明日はバレンタインデーです。本来ならセンターでも寮母さんに教えてもらいながら、手作りのチョコやクッキーを作っているのですが、今年も昨年に続きコロナ禍の中、お菓子作りをしたかった女の子たちには残念なことです。手作りのお菓子を渡すのはやめて市販のお菓子をラッピングして渡すことにしました。しかしそれさえも、現在全世界にまん延している感染力の非常に強い「オミクロン株」の事を考えて、日頃お世話になっているごく内輪の人や里親さんに限定して手渡すことにしました。いつになったら新型コロナウイルスの感染が収束し、笑顔でチョコレートを食べれる日が来るのでしょうか？



2月誕生日会

2月20日、今日は2月29日生まれのシュホの誕生日会をしました。2月29日と言えば、4年に一度しかやらない「うるう年」、オリンピックと同じ貴重な日です。ですが、4年に一歳しか年齢が増えないわけではありません。2月28日の24時に一歳加算されることにちゃんと法律で定められているようです。今回も色紙とプレゼントを手渡してもらってうれしそう。シュホは寮母さんにチーズケーキを希望しましたが、乳製品が苦手なユメカのことを考えて迷っていたそうで、それを見た寮母さんがチーズケーキとフルーツケーキの二つを作ってくれました。シュホの優しい一面を見ることが出来ました。24期生のお誕生日会は今日で終了です。来年度それぞれの場所で楽しい誕生日を迎えてもらいたいです。

